

調剤内規

Ver 160601

1 散剤の調製について

☆アレピアチン、ヒダントールは使い分けしているため、処方通り調剤する。

☆バルプロ酸剤の採用薬には、以下の通り。

デパケン錠 100mg	デパケン R 錠 100mg	セレニカ R 錠 100mg
デパケン錠 200mg	デパケン R 錠 200mg	セレニカ R 錠 200mg
デパケン細粒 40%	デパケンシロップ 5%	セレニカ R 顆粒 40%

☆全ての散剤について一包ごとに「患者氏名」及び「薬品名」を印字する。

(散剤に色がついていても、いなくても印字すること。)

☆錠剤（つぶし）及びカプセル（はずし）の場合の賦形は、

}	1日量が 0.5 g 以下で服用回数が <u>1日2回以上のとき、</u>	<u>1日量を 0.5 g とする。</u>
	1回量が 0.2 g 以下で服用回数が <u>1日1回のとき（頓服等）、</u>	<u>1回量を 0.2 g とする。</u>

☆賦形剤には、基本的には乳糖末を用いること。

☆ジゴシン散は上記に従って賦形する。

☆抗てんかん薬は賦形しない。また、GE への変更も不可とする。

☆アスピリン、アンギナール散についても同様に賦形はしないこととする。

☆散剤（漢方薬含む）は基本それぞれ別包とする。

◆処方例 1

01)	デパケン細粒 40%	0.75 g	(分量は 300mg)
	[用法] 1日2回 朝・夕食後		90 日分
02)	リボトリール細粒 0.1%	0.7 g	(分量は 0.7mg)

[用法] 1日2回 朝・夕食後

90日分

03) デグレトール細粒 50%

0.36g

(分量は 180mg)

[用法] 1日2回 朝・夕食後

90日分

※症状により変更の可能性があるので、個々の分包とする。

◆処方例 2

01) フェノバル散 10%

0.7g

(分量は 70mg)

[用法] 1日2回 朝・夕食後

90日分

02) アレビアチン錠 100mg

1錠

(分量は 100mg)

ヒダントール錠 25mg

1錠

(分量は 25mg)

粉砕してください (注1)

[用法] 1日2回 朝・夕食後

90日分

※アレビアチン・ヒダントールは、共に成分の同じジフェニルヒダントインで散剤もあるが、この処方ではあえて錠剤をつぶして調剤する。

◆処方例 3

01) エクセグラン散 20%

1.0g

(分量は 200mg)

[用法] 1日2回 朝・夕食後

30日分

02) マイスタン細粒 1%

0.6g

(分量は 6mg)

[用法] 1日1回 夕食後

30日分

03) ギャバロン錠 5mg

1 錠

(分量は 5mg)

粉碎してください (注 1)

[用法] 1日2回 朝・夕食後

30 日分

※ギャバロン錠 5mg は、つぶすと 0.5g 以下の為 乳糖を加えて、1 日量を「0.5g」に調製し、分 2 とする。

◆処方例 4

01) アンギナール散 12.5%

0.16g

(分量は 20mg)

アスピリン

0.035g

(分量は 35mg)

[用法] 1日2回 朝・夕食後

40 日分

02) フロセミド細粒 4%

0.05g

(分量は 2mg)

アルダクトンA細粒 10%

0.02g

(分量は 2mg)

[用法] 1日2回 朝・夕食後

40 日分

※アンギナール・アスピリンについては合計が、0.5g 以下だが、賦形しない。

◆処方例 5

01) フロセミド細粒 4%

0.25g

(分量は 10mg)

アルダクトンA細粒 10%

0.12g

(分量は 12mg)

[用法] 1日2回 朝・夕食後

30 日分

02)	ジゴシン散 0.1%	0.06 g	(成分量は 0.06mg)
	[用法] 1日2回 朝・夕食後		30日分
04)	アングナール散 12.5%	0.32g	(成分量は 40mg)
	[用法] 1日2回 朝・夕食後		30日分

※ジゴシン散を計量し、1日量が0.5gになるよう乳糖を加えて調製する。

◆処方例 6

01)	アローゼン	0.3 g	
	粉砕してください (注1)		
	[用法] 1日3回 毎食後		30日分

※アローゼンは顆粒製剤であるが、指示がある場合は「すりつぶして」調剤すること。

※「アローゼン 9g を量り粉砕する」のではなく「粉砕したアローゼンを 9g 量り取る」こと。

◆処方例 7

01)	タケプロン OD 錠 15 mg	0.4 錠	(成分量は 6 mg)
	粉砕してください (注2)		
	[用法] 1日1回朝食後		30日分

※タケプロン OD 錠は、口腔内崩壊錠であるが軽く砕くのは安定性上問題なしとの回答をメーカーから得ている。

注1 「粉砕してください」の指示がある処方については粉砕後の散剤が標準ふるい メッシュ26 (600 μ m) を通過することとする。

注2 OD錠の場合の「粉砕してください」については、注1は適応されないこととする。

☆錠剤の粉碎における注意点

- 賦形は基本、乳糖末を用いること。
- メンドンカプセルの賦形はとうもろこしでんぷんを用いる。
- 抗てんかん薬と抗生剤は賦形しない。
- ケトン食療法を行っている場合は、乳糖賦形はしない。(糖質管理をしているため)
- ラミクタールはチュアブル・ディスパーシブル錠であり、規格の選択により細かく成分量を調節できることから当センターでは粉碎しないこととする。
- ワカデニン腸溶錠は腸ろうから投与する場合、或いは医師の指示により粉碎可とする。

上記以外に当センターでは賦形しない錠剤一覧

アリナミン F 糖衣錠 50mg	アロプリノール錠 100mg
イスコチン錠 100mg	ヴォリブリス錠 2.5mg
ウルソデオキシコール酸錠 100mg	カタプレス錠 75 µg
コートリル錠 10mg	ザイザル錠 5mg
ザイボックス錠 600mg	サラゾスルファピリジン錠 500mg
シロスタゾール錠 50mg	セルセプトカプセル 250mg
ゾルピデム酒石酸塩 OD 錠 5mg	ダイアート錠 30mg
タケプロン OD 錠 15	チオラ錠 100mg
チクロピジン塩酸塩錠 100mg	デカドロン錠 0.5mg
ドパコール配合錠 L100	トリプタノール錠 10
ネオファーゲン C 配合錠	バクタ配合錠
小児用バクシダール錠 50	バファリン配合錠 A81
ブチルスコポラミン臭化物錠 10mg	ブルフェン錠 100mg
プレマリン錠 0.625mg	プロゲストン錠 2.5mg
フロリネフ錠 0.1mg	ベザフィブラート SR 錠 100mg
ペラプリン錠 5mg	ポラキス錠 2mg
硫酸ポリミキシン B 溶性錠 25 万単位	ボルタレン錠 25mg
ミニプレス錠 0.5mg	メチルジゴキシン 0.1mg
メトプリック錠 20mg	メトリジン錠 2mg
メプチンミニ錠 25mg	リシノプリル錠 5mg

リスパダール錠 1mg	リリカカプセル 25mg
リンデロン錠 0.5mg	ルーラン錠 4mg
ルプラック錠 4mg	レボチロキシリン Na 錠 50 µg
ロキソニン錠 60mg	ワイパックス錠 0.5mg
ワカデニン腸溶錠 10mg	

2 水剤の調製について

- ☆ 水薬は「計量カップ・スポイト・シリンジ」等で服用する（1回量）。
- ☆ 1回分の投与量は特に指定がない限り 整数 になるよう調整する。
- ☆ シロップ（水薬）で30日を越える場合は「単シロップ」を加えて調製する。
- ☆ エリキシル剤についても同様に「単シロップ」等を加え、調製すること。
- ☆ 当センターではアルファロール、トリクロリール、セルシン、エルカルチン、ハリゾン、ザイザルシロップは基本原液で調剤する。
- ☆ プロカテロールシロップは基本単独で調剤する。
- ☆ エルカルチンFF 内容液 10%は、投薬ビンに小分け可能。（メーカーより専用キャップの支給もあり）
- ☆ シロップの1本分の投与日数は最大20日分として、それ以上なら分けて調製すること。
- ☆ 原液で20日以上投薬のとき、容器は特に指定しない。（製品+投薬ビンまたは、投薬ビンのみ等）

◆処方例 1

01) デパケンシロップ 5% 5mL
 (分量は 250mg)
 [用法] 1日2回 朝・夕食後 90日分

【調製法】： 1本分の最大は20日分なので90日分の処方では、

$$\left[\begin{array}{l} 20 \text{ 日分} \times 3 \text{ 本} \\ 15 \text{ 日分} \times 2 \text{ 本} \end{array} \right. \quad \text{計 5 本}$$

※当センターの投薬ビンの採用は30・60・100・150・200・300・400・500mLなので

この組み合わせで調製するが、20日分×4本・10日分×1本でも可。


i) 20日分

$$250 \text{ mg} \div 50 \text{ mg} = 5 \text{ mL} / 1 \text{ 日分}$$




【1回分は、2.5mLですが 整数 に合わすので 1回量は、3mLに調製】



デパケンシロップ 100mL + 単シロップ 20mL  全量 120mL

ii) 15日分

上記参照

デパケンシロップ 75mL + 単シロップ 15mL  全量 90mL

3 その他

※ 患者様の個人購入薬（または試薬等）を担当医の依頼書に基づき調製している。

☆メラトニン錠のつぶし作業

☆プレミアム末：亜鉛華単軟膏 10%=3：7

☆カラヤ末：亜鉛華単軟膏 10%=3：7